

抗議集会に最大結集を

「再教育」で安全が脅かされる

組合員のみなさん

丸家さんが「再教育」中にもかかわらず、10月8日付で東京駅に転勤の発令が出されました。

この「再教育」は、丸家さんが発車時のユニット点灯に危険と判断して停止手配を取ったことがその理由とされています。これは、危険と判断したこと自体が問題にされたこととなります。乗務員は常に、危険と事故に向き合いながら乗務しています。このままでは、乗務中に「何か」があっても口をつぐみ、「バレタ時」に初めて「実は…」、という状況がつくられかねません。

特に発車時は、故障だけでなく事故や妨害などの異常事態が最も多く発生する危険な瞬間です。だからこそ矛盾だらけの「五所統一」として、9月から運転士も車掌も一斉に運転取り扱いの変更をしたはずですが。この変更の特徴の一つは、発車時の安全確認に焦点を絞っているところにあると言えます。だから、少しでも危険と判断したら停止手配を取るのが最も安全なみちなのです。

この、瞬間的に安全を考えたな停止手配が「再教育」への始まりだとしたら、特に運転士は停止手配を躊躇してしまうことになりかねません。これでは安全の確保は出来なくなってしまいます。安全が脅かされることになってしまいます。

この「再教育」は、安全を第一に考えた丸家さんの判断を逆手に取った不当な「再教育」でしかありません。

組合員のみなさん

抗議集会に最大結集し、丸家さんを直ちに乗務に戻させましょう